

## 中部知多衛生組合の財政状況

ここにお知らせする財政状況は、組合の収入及び支出状況、財産、組合債の状況等を皆さんに正しく理解していただくために毎年5月と11月に公表しているものです。

今回は、令和4年度決算状況と令和5年度予算の上半期（4月～9月）の執行状況についてお知らせします。

### 令和4年度決算

施設は、昭和61年稼働以来37年目を迎え、耐用年数を超過する設備・機器等が多く、施設全体の老朽化が進行するとともに、汲取り便槽の水洗化等による浄化槽の普及により、し尿等の搬入性が当初設計負荷と比較して希薄化しているため、施設運営の効率化が困難な状況となっていたなか、継続的かつ、安定した処理機能の確保、循環型社会に資する処理システムへの転換を目指し、令和2年度から実施してきた「下水道放流方式」への改修整備工事が令和4年6月末で完了しました。また、施設の維持管理業務につきましても工事の完了に併せ、令和4年7月から5年間の長期包括運転管理等業務委託に切り替えました。

令和4年度の歳入決算額は8億1,662万5千円（対前年度比6億2,952万5千円減、△43.5%）、歳出決算額は8億934万2千円（対前年度比5億6,602万7千円減、△41.2%）で、歳入歳出差引額は728万3千円となり、実質収支につきましても同じく728万3千円となりました。

歳出では、前述の「し尿処理施設（汚泥再生処理センター）整備工事」、工事に伴う「施設整備工事施工監理業務」、その他主な事業として「廃棄物処分業務」、及び令和3年度で事業完了となった「ダンプトラック購入」、「長期包括運転管理発注支援業務」、「既設放流管渠撤去等工事事前調査業務」が減の主な要因となっています。

歳入では、事業費の減に伴う負担金、国庫支出金、組合債の減が主な要因となっています。

生し尿等の収集量は、人口の減少、及び公共下水道の面整備の進捗、接続人口の増加によって、引き続き減少していくものと推測しますが、施設の効果的な運営に努めるとともに維持管理等につきましても合理的な運転による経費削減を図ってまいります。

歳入歳出額の比較

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和4年度
歳 入	1,446,150	816,625
歳 出	1,375,369	809,342
歳入歳出差引額	70,781	7,283

目的別

(単位：千円：%)

区 分		予算額	決算額	構成比
歳 入	分担金及び負担金	246,463	246,463	30.18
	国庫支出金	139,683	139,251	17.05
	繰越金	70,781	70,781	8.67
	諸収入	971	1,030	0.13
	組合債	360,000	359,100	43.97
	計	817,898	816,625	100.00
歳 出	議会費	647	607	0.08
	衛生費	798,223	794,709	98.19
	公債費	14,028	14,026	1.73
	予備費	5,000	0	—
	計	817,898	809,342	100.00

性質別

(単位：千円：%)

区 分	金 額	構 成 比
人件費	28,147	3.48
物件費	200,939	24.83
補助費	1,725	0.21
普通建設費	564,505	69.75
公債費	14,026	1.73
計	809,342	100.00

組合債の現況

(単位：千円)

借入先	現在高
財務省	72,811
その他の	1,113,092

組合財産の状況

土 地	建 物
17,358.00 m <sup>2</sup>	4,815.52 m <sup>2</sup>

## 令和5年度上半期予算執行状況表

### 組合管内の状況

人 口            219,425 人  
世 帯            97,772 世帯

令5年度とは、令和5年4月1日から  
令和6年3月31日までをいいます。ここに  
掲げました数値は9月30日現在のものです。

(単位：円：%)

区 分		予 算 額	予算執行済額	執 行 率
歳 入	分担金及び負担金	398,416,000	199,214,000	50.00
	繰越金	1,000	7,282,786	—
	諸収入	853,000	7,817	0.92
	計	399,270,000	206,504,603	51.72
歳 出	議会費	647,000	49,930	7.72
	衛生費	301,759,000	94,719,342	31.39
	公債費	91,864,000	45,931,199	50.00
	予備費	5,000,000	0	0.00
計	399,270,000	140,700,471	35.24	